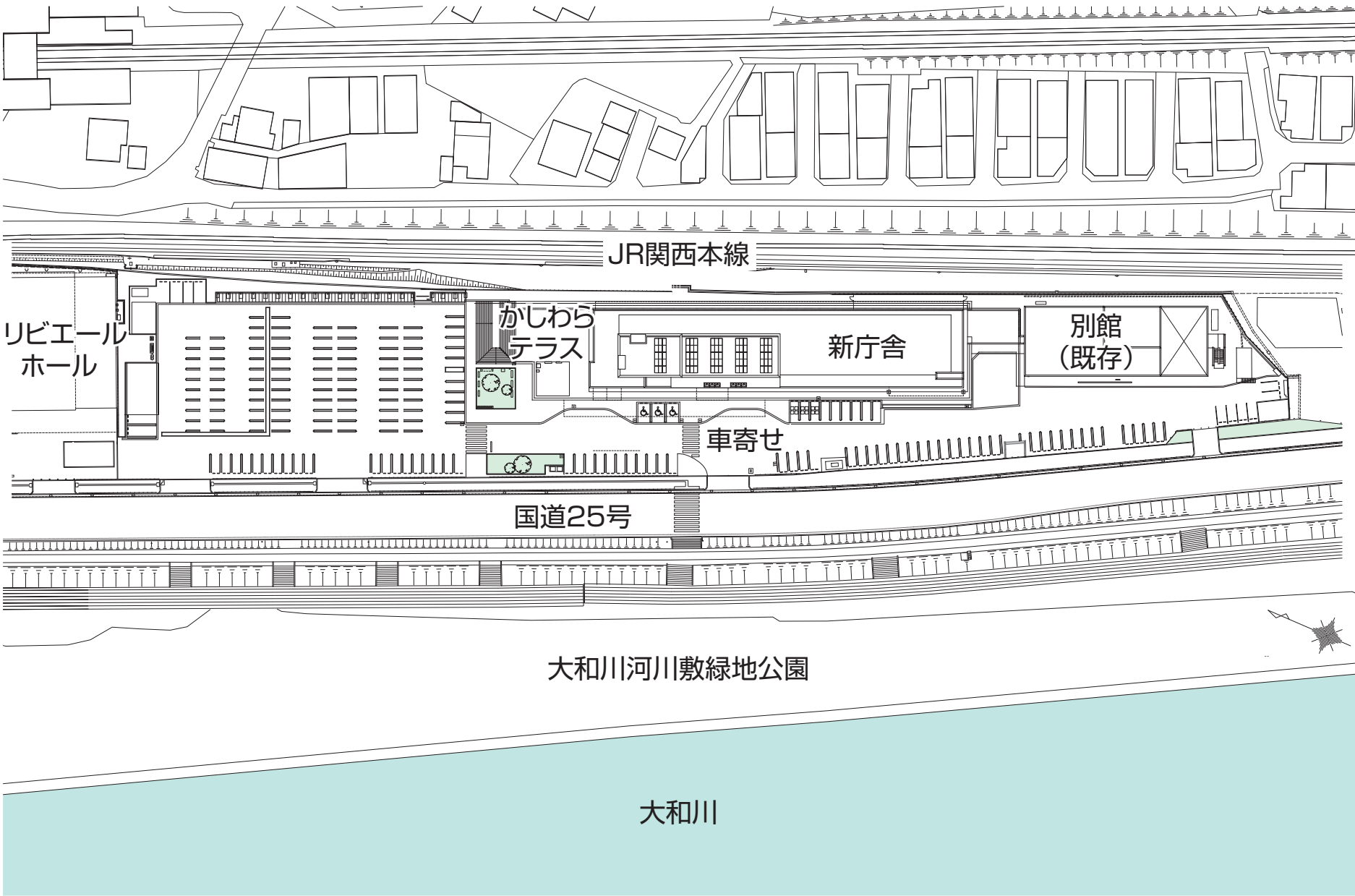


# 柏原市庁舎





# 配置図



-POINT-

1. タテルーバー
2. かしわらテラス
3. PC 梁天井

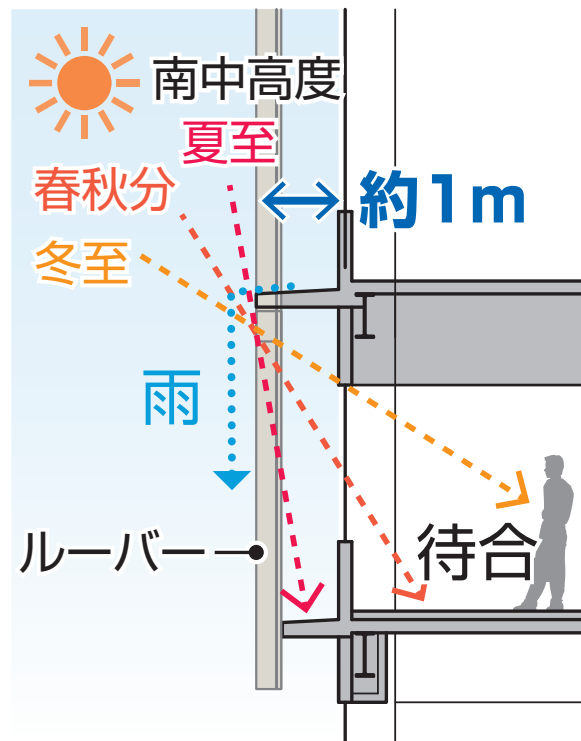
# 1. タテルーバー



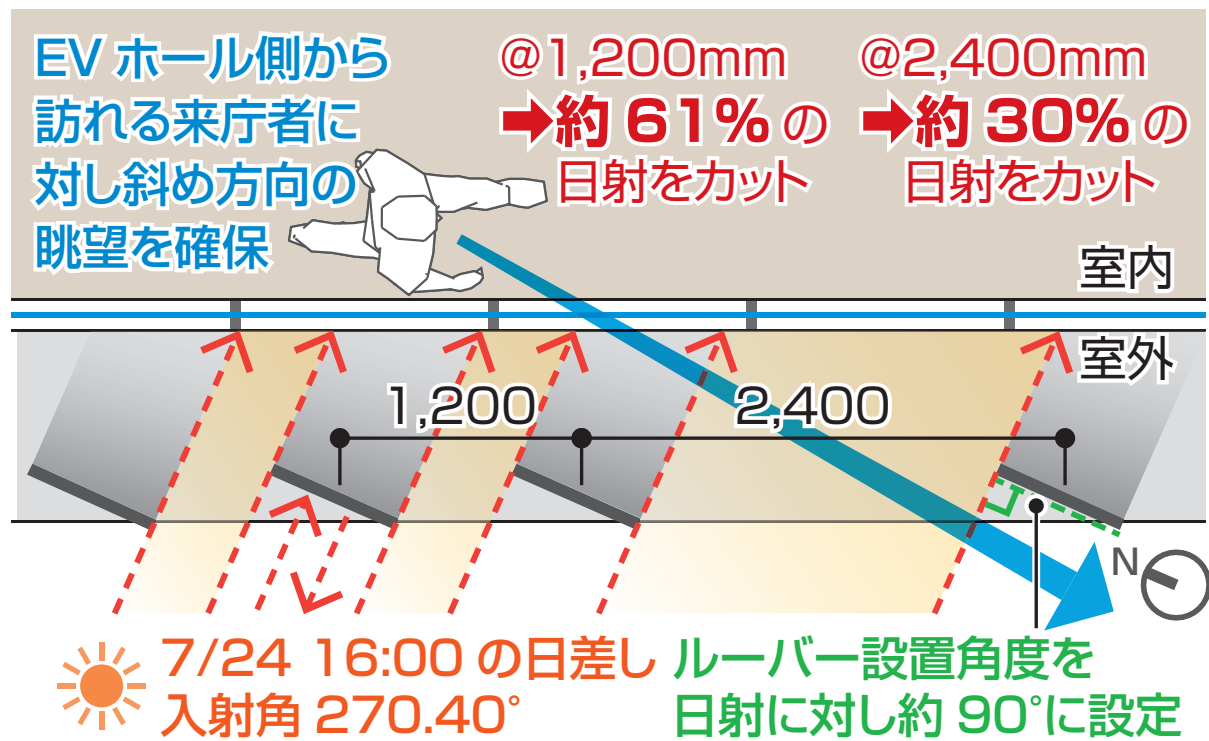
西面外観：低層部は水平庇、高層部はタテルーバー

# 1. タテルーバー

## ● ルーバー断面イメージ



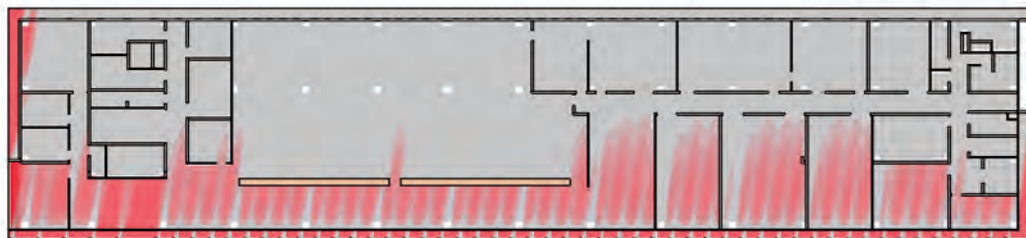
## ● ルーバーピッチと遮蔽率



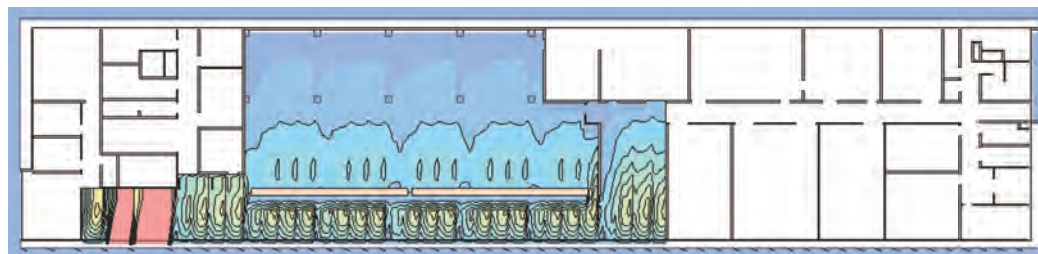
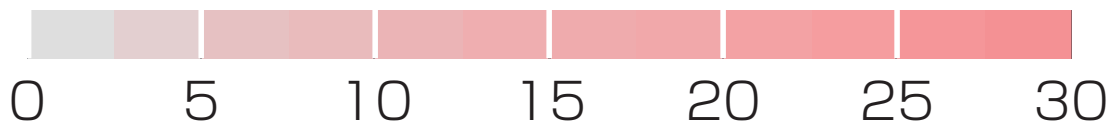
タテルーバー設置による熱負荷シミュレーション

# 1. タテルーバー

- 日射・熱シミュレーション



直達日射量 ( $\text{W}/\text{m}^2$ )



温度 ( $^{\circ}\text{C}$ )



タテルーバー設置による熱負荷シミュレーション

## 2. かしわらテラス



旧柏原市庁舎の内観





スリット窓

大和川の景色が広がる待合スペース



かしわらテラス

2階へ直接アプローチできる大階段

かしわらテラスと大階段



大和川を望む かしわらテラス



活動が見える開放性の高いガラススクリーン(二重構造)

テラスとつながる市民活動スペース

岩綿吸音板

陰影で奥行きのある  
表情をつくる PC 梁天井



光と陰で表情のある PC 梁天井

# 環境配慮について

## 北 ① 自然採光

水平庇により、直射日光を遮りながら、安定した採光を確保。

## ② 自然通風

開口部や吹抜けを利用し、西からの主風向が屋上へ抜ける「風の道」を形成し、自然換気を促進。

## ③ 緑の活用

緑化促進により、景観形成や涼風などの良好な環境を創出。

## ④ 太陽光発電システム

太陽光発電パネルを設置、災害時の補完電力として活用。

## ⑤ 雨水利用

建物に降った雨水を雨水貯留槽に貯め、雑用水や植物への散水に利用。

## 南

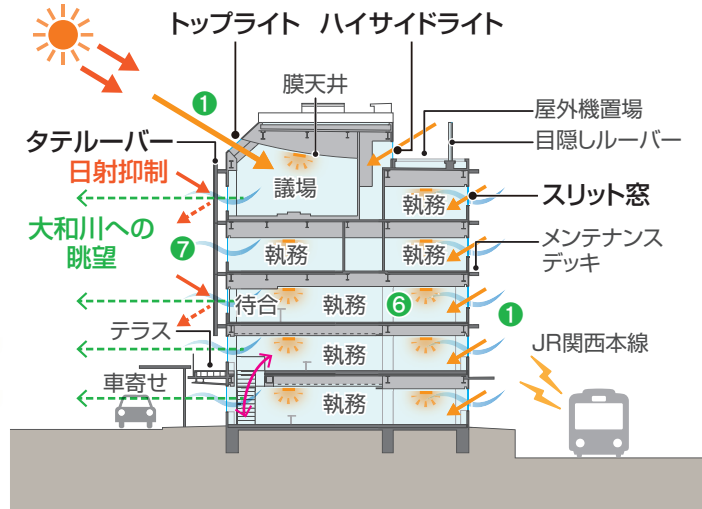
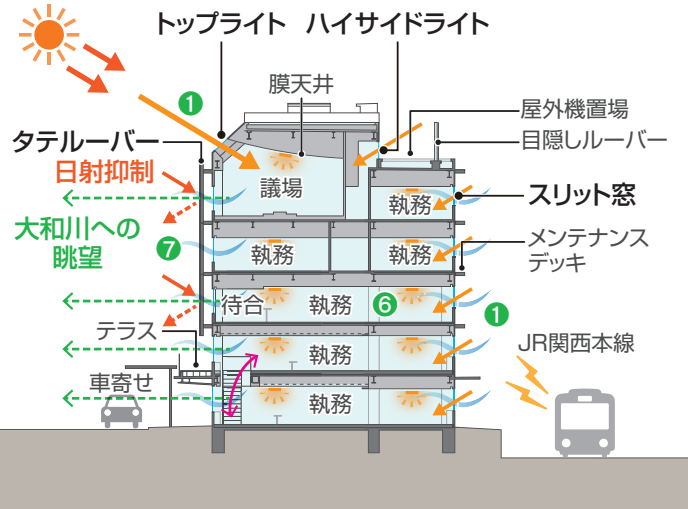
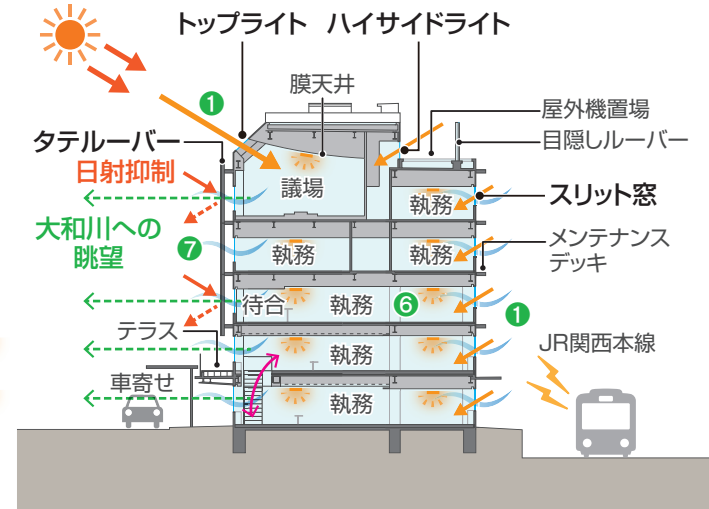
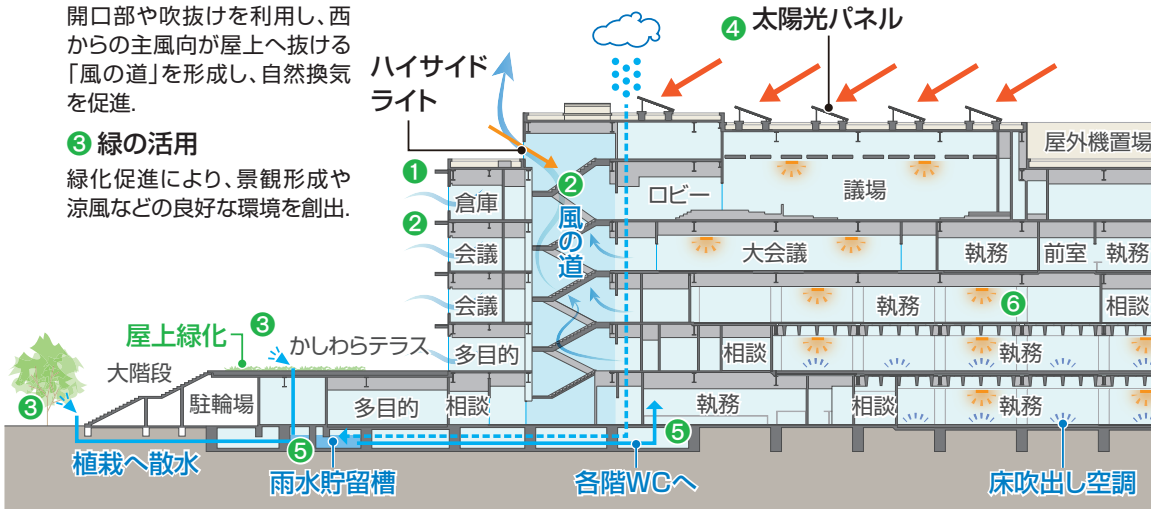
## 西 ⑥ 照明センサー

必要照度を調整する照明システムにより、電力を削減。

## ⑦ 躯体の高断熱化

気密サッシ・Low-Eガラスを採用し、躯体の高断熱化を図る。

## 東



# 環境配慮について

**北** ① 自然採光  
水平庇により、直射日光を遮りながら、安定した採光を確保。

② 自然通風  
開口部や吹抜けを利用し、西からの主風向が屋上へ抜ける「風の道」を形成し、自然換気を促進。

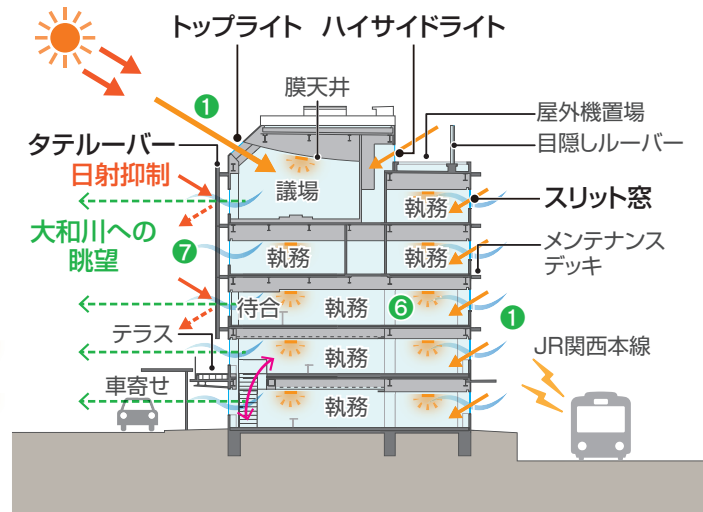
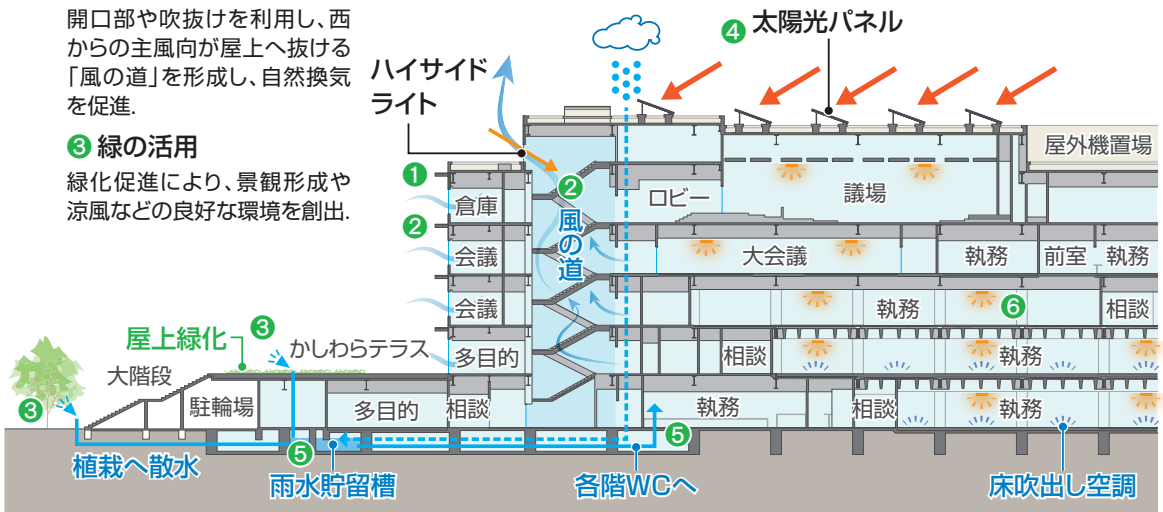
③ 緑の活用  
緑化促進により、景観形成や涼風などの良好な環境を創出。

④ 太陽光発電システム  
太陽光発電パネルを設置、災害時の補完電力として活用。

⑤ 雨水利用  
建物に降った雨水を雨水貯留槽に貯め、雑用水や植物への散水に利用。

**南** ⑥ 照明センサー  
必要照度を調整する照明システムにより、電力を削減。

**東** ⑦ 躯体の高断熱化  
気密サッシ・Low-Eガラスを採用し、躯体の高断熱化を図る。



空調エネルギー ②⑦

照明エネルギー ①⑥

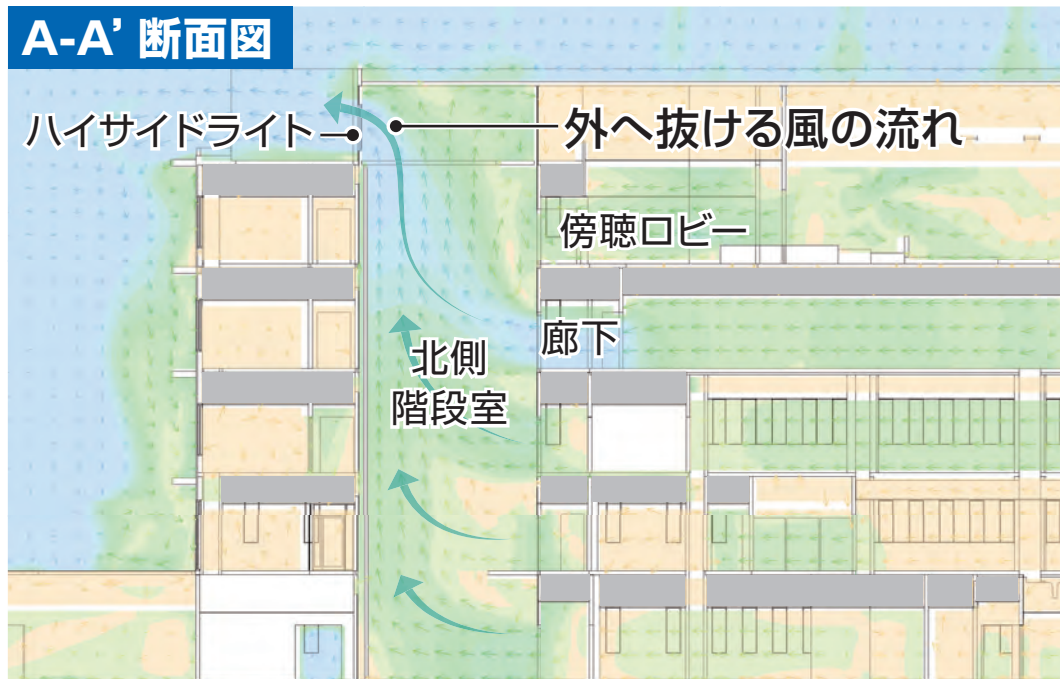
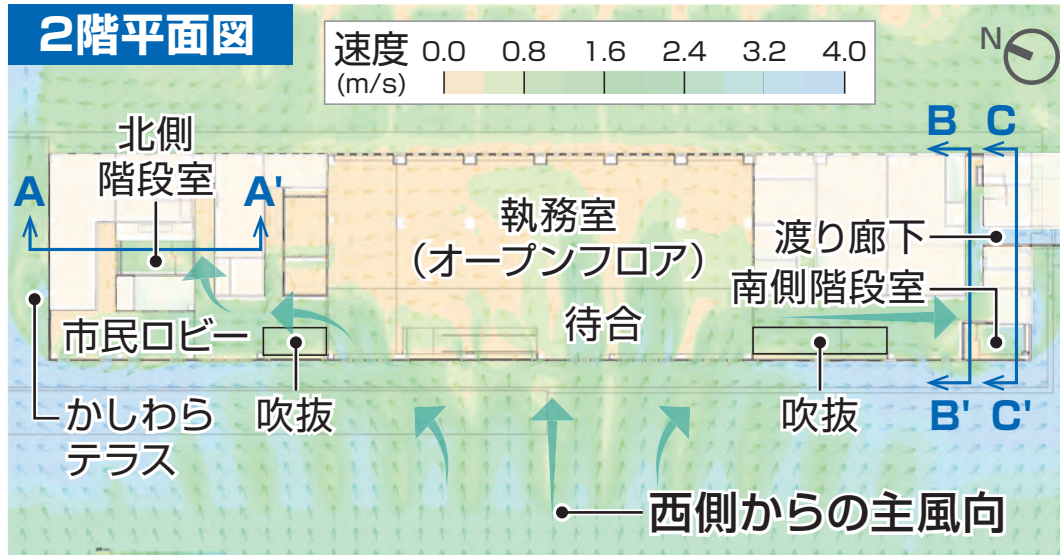
雑用水使用料 ⑤

15% 削減

40% 削減

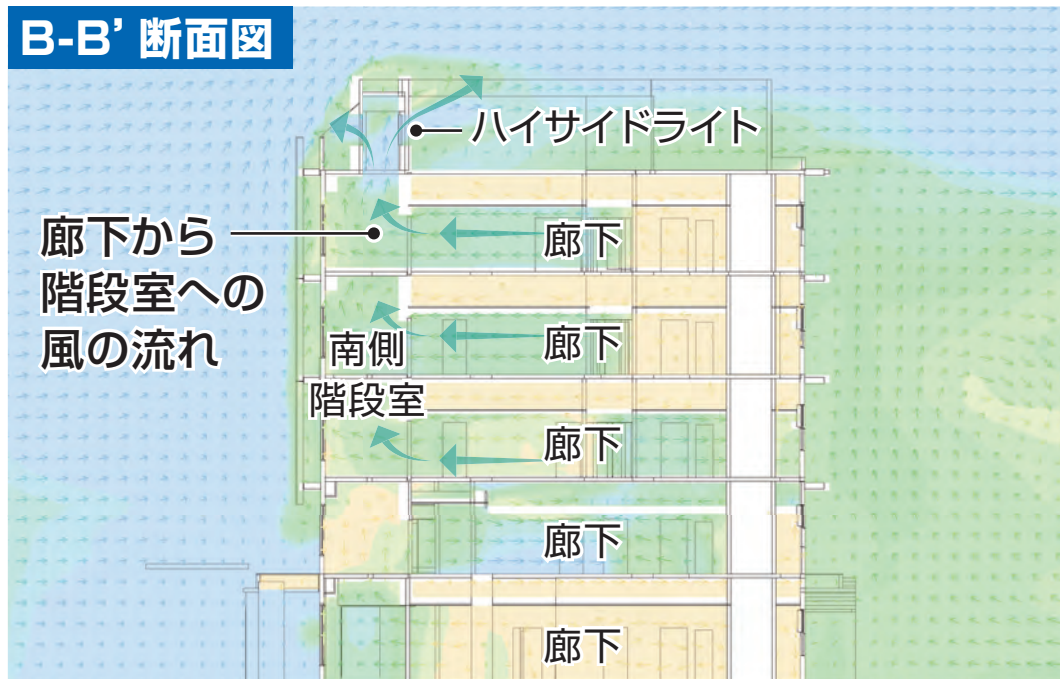
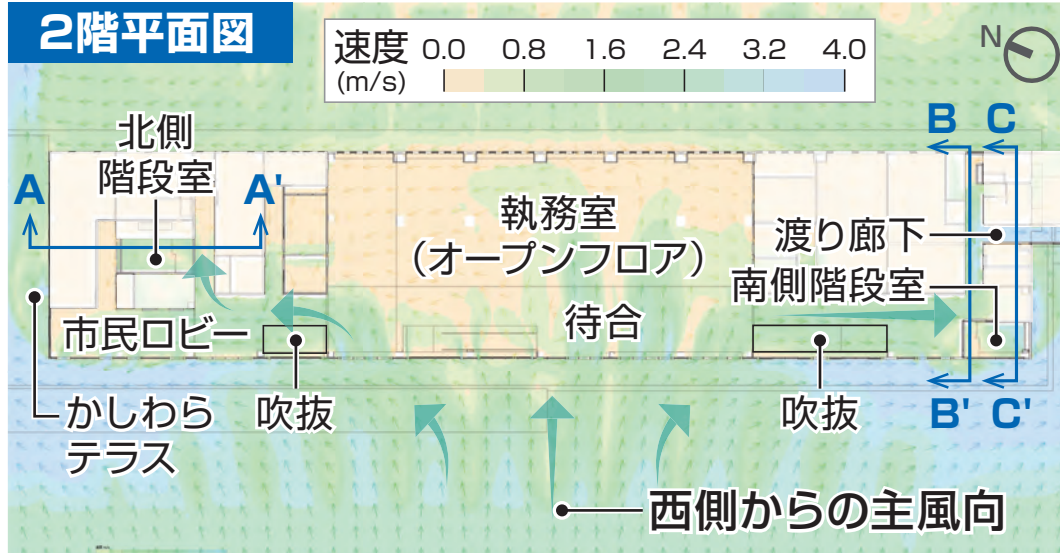
60% 削減

# 自然通風による建物内に風の道をつくる

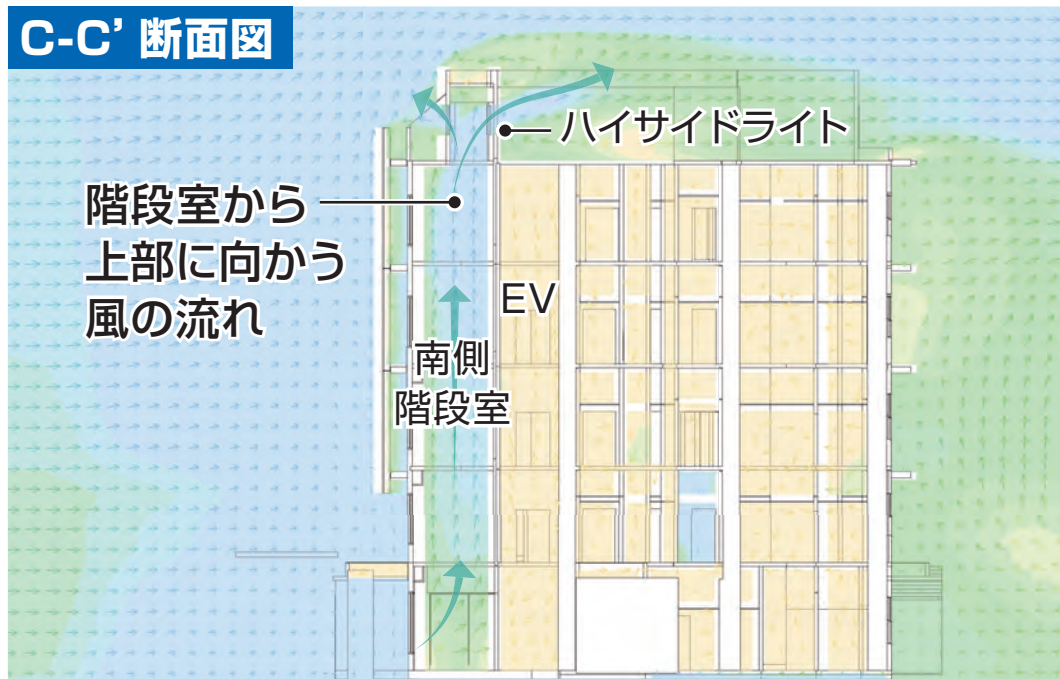
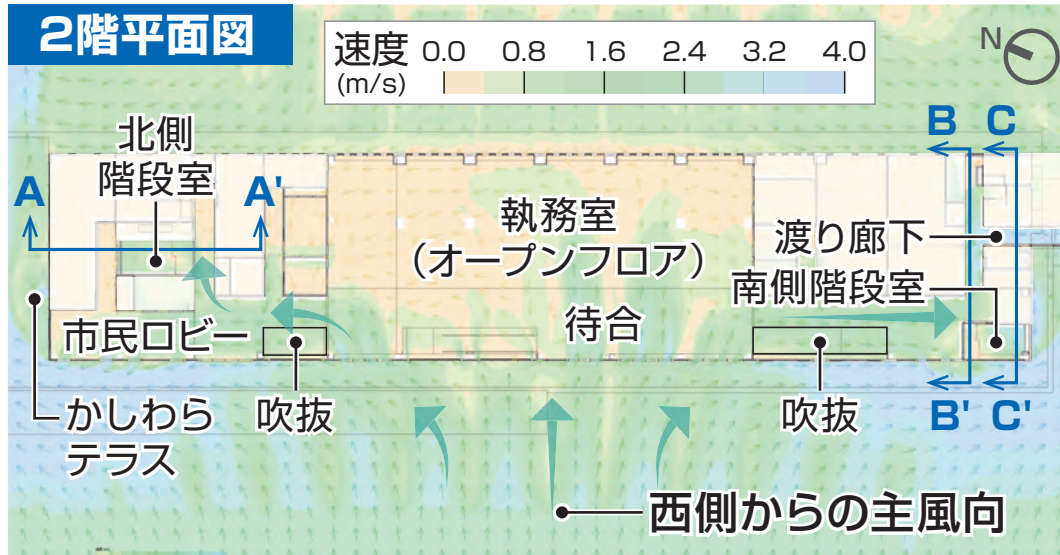




# 自然通風による建物内に風の道をつくる



# 自然通風による建物内に風の道をつくる



リビエールホール

庁舎

既存棟



隣接する既存文化ホール(リビエールホール)と調和する  
地域のランドマークとなる河川風景の創出



かしわらテラス

トップライト タテルーバー

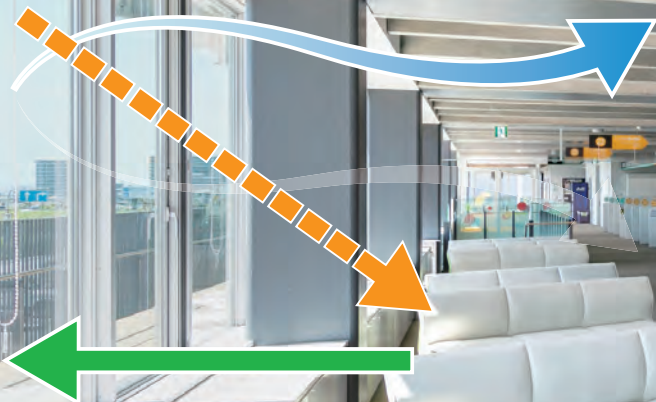
緑化

水平庇

外観北西面

- 階高を抑えながら、空間の広がりをもたせる PC 梁

自然採光 + 自然通風



待合スペースから  
大和川の景色を望む

空間に広がりを与える PC 梁

軽い膜天井

自然採光の  
トップライト

自然通風

大和川の景色を望む

議場 (5 階)



# 柏原市庁舎



